

1. 題材名 「環境と消費者 ～持続可能な消費の実践、「世は満足じゃ」～」

2. 題材の指導計画（授業内4時間扱い）

| 時間  | 学習内容   | 主な目的   |
|-----|--|--|
| 1   | 「買う」・「買わない」の分かれ道                             | 商品選択の意思決定を左右する情報の力を理解し、批判的に考える大切さを知る。        |
| 2   | 「私の自販機利用金額」を振り返る                             | 飲料水の購入を家計との関連で捉え、自分の意思決定のあり方を考える。            |
| 3   | 日常的な消費の仕方と環境への負荷をペットボトルのリサイクルに関連して分析         | ペットボトルの消費が環境に与える影響を理解し、他者に働きかける必要性に気づく。      |
| 4   | ペットボトルに依存しない生活にするための工夫                       | ペットボトル飲料の消費に伴う環境問題を整理し、課題解決に向けた周囲への働きかけを具体化。 |
| 授業外 | 消費者市民としての力をつけよう！<br>～持続可能な社会形成のために私たちができること～ | クラスで取り組むと楽しい！と思える企画の計画・実行・評価。                |

3. 2～4時の授業展開

(1) 2時間目

①目 標 日常的な消費行動を家計管理の視点からとらえ、意思決定のあり方を考えることができる。

②展開例

| 過程   | 学習活動                                      | ○指導上の留意点●評価   | 備考       |
|--|---|---|----------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     私たちは何にお金を使っているのだろうか。                 </div>                  |   |   |          |
| 導入   | 1 2018年、2019年の日経のベストヒット商品がヒットした理由を考える。    | ○ヒットした理由から消費者の意思決定が市場に影響することを確認する。                      | 資料       |
| 展開   | 2 クラスの生徒が小遣いでよく購入する商品は何か考える。              | ○事前アンケートの結果を示し、飲料水の購入が多いことを確認する。                        | 事前アンケート  |
|  | 3 本時の学習内容を知る。                             | ○校内の自販機での消費を通して、私たちのお金の使い方を考えてみよう。                      |          |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     なぜ、本校生はこんなにペットボトル飲料を飲むのだろうか。                 </div>          |   |   |          |
| 7  | 4 校内の自販機を利用する理由や商品を選択するときの基準を考える。         | ○本校生の消費の実態をクイズ形式で示し、ペットボトル飲料の売り上げが多いことを確認する。            | 資料       |
| 5  | 5 自販機の商品の中でもペットボトル飲料が選ばれる理由を考える。          | ○意思決定に焦点を当て、味や利便性が支持されていることを確認する。                       | ワークシート   |
| 15   | 6 「きき水」で自分の意思決定の曖昧さを知る。                   | ○3種類の水を飲み比べ、おいしいから買うという意思決定のあやふやさを確認する。                 | ペットボトル飲料 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     本校生が校内の自動販売機で使っているお金は、1年間でいくらになるだろうか。                 </div> |   |   |          |
| 7  | 7 自分の自販機の利用回数を想起し、1年間の利用金額、3年間の利用金額を計算する。 | ●計算が苦手な生徒は電卓を使わせる<br>○個人の使用実態の違いに着目させ、買わないという選択肢に気づかせる。 | プリント     |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 3  | 8 4のクイズから校内の自販機で本校生が使った金額を計算する。  | ○累積金額の大きさから、消費者の意思決定が市場に影響することをおさえる。<br>○自分の小遣いと照らし合わせ、自分の消費行動を金銭管理の視点で考えさせる。<br>○「買わない」という生徒に発表を促し、買わないための工夫を考えさせる。<br>●小遣いをもらっていない生徒には○<br>○県の最低賃金で働いた場合、自分の支出が何時間分の労働にあたるかを考えさせる。 |  |
| 7  | 9 自分の意思決定のあり方を振り返り発表する。<br>・飲料水の支出割合が適正かどうか<br>・改善の必要性と改善方法<br>・ペットボトルの水は、1本130円で500mlの価値があるのか |  |  |
| 次回は、ペットボトルの消費が増えたことによって生じる諸問題について考えてみよう。 |  |  |  |
| まとめ5                                     | 10 本時の感想を記入する。   | ○次時の予告をする。   |  |

(2) 3時間目

①目標 日常的な消費行動が環境に与える影響を理解し、改善に向けた取組の必要性に気づく。

②展開例

| 過程                              | 学習活動  | ○指導上の留意点●評価  | 備考               |
|---------------------------------|---|--|------------------|
| 導入5                             | 1 ペットボトル飲料の利用状況を振り返る。<br>2 本時の目標を知る。  | ○前時の学習を振り返りながら自分の自動販売機の利用が変わったかどうか発表させ、変容の難しさを確認する。  | グループ形式<br>ワークシート |
| ペットボトル飲料の消費が増えることで起こる問題を考えてみよう。 |   |  |                  |
| 展開5                             | 3. ペットボトル飲料の消費の増加がもたらす問題を考え、発表する。   | ○生徒の意見を板書し、キーワードとして「家計」「健康」「環境」を確認する。<br>●意見発表が苦手な生徒には教師がワークシートを読み上げる。<br>○前時の学習や昨年の保健委員会の発表により、家計や健康面の問題を理解させる。                                   | ワークシート<br><br>資料 |
| 7                               | 4 ▲▲市のごみ処理の実態を知り、班ごとに課題に取り組む、板書する。<br>1班：昨年の校内自販機の売り上げからペットボトルのごみの量を計算する。軽トラック何台分に当たるか計算する。<br>2班：平成30年度の市のペットボトル回収量が軽トラック何台分に当たるか計算する。 | ○▲▲市のペットボトルの回収量、プラスチックに占める割合、リサイクル率、1年間のごみ処理費用を示し、より身近に感じられるように班で課題に取り組みさせる。<br>○昨年4～12月のペットボトル飲料の販売実績19,734本、ペットボトル容器1本の重さは12～30gまであるので、20gに統一する。 | 計算機<br>資料        |

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
|  | <p>3班：平成30年度の▲▲市のペットボトル回収量からリサイクルされなかったペットボトルの量を計算する。</p> <p>4班：1人あたり1年間にかかるごみ処理費用から本校生全体の費用負担分を計算する。</p> |   |  |
| <p>ペットボトル容器はリサイクル率が高いから、いくら使っても大丈夫なのかな。</p>  |   |   |  |
| 10   | <p>5 海洋プラスチックごみの問題を知り、社会的影響を考えた意思決定の必要性に気づく。</p>  | <p>○海洋プラスチックごみの写真の感想を聞き、新聞記事を読み上げる。</p> <p>○「買う」という意思決定の結果として、資源・ごみ問題が発生していることをおさえ、消費者の社会的責任の必要性と他者への働きかけの大切さを理解させる。</p> <p>●自分の満足のための消費から考えが深まらない生徒にはプリントの「世は満足じゃ」の意味に着目させる。</p>   | <p>写真<br/>新聞記事<br/>社会の扉</p>                                |
| <p>4つの視点から、問題解決に向けて何ができるかを考えてみよう。</p>        |   |   |  |
| 15   | <p>6 4つの視点で環境負荷の軽減法を考え、短冊に書いて黒板に貼る。</p>   | <p>○視点として「自分の行動」「友人や家族」「会社」「社会」を提示し、考える手がかりにする。</p> <p>○例として、企業のペットボトルの軽量化やカンコー学生服のペットボトルを素材にした学生服製造の取組を紹介する。＜参考＞岡山県アパレル工業組合<br/><a href="http://www.okayama-ap.or.jp/">http://www.okayama-ap.or.jp/</a></p> <p>●意見が出ないときは準備した資料を活用させる。</p> | <p>グループでの話し合い</p> <p>ペレット<br/>ペットボトル<br/>紙・マジック<br/>資料</p> |
| 5  | <p>9 意見交換して、自分が興味を持ったものを1つ選び、働きかけの方法を考える。</p>   | <p>○短冊の内容について自由に質問や補足をさせ、興味を持たせる。</p>   |  |
| <p>今回はクラスで取り組みたいことを決め、実際に行動に移す方法を考えてみよう。</p> |   |   |  |
| まとめ3   | <p>10 次時の予告を聞き、授業の感想をまとめる。</p>  |   |  |

(3) 4時間目

- ①目 標 皆と話し合うことで、環境に負荷がかからない社会を形成する手立てを考案できるだけでなく、自らの思考も深まり、さらに、社会へ働きかける意欲を持つことができる。

②展開例

| 過程  | 学習活動  | ○指導上の留意点●評価   | 備考                             |
|---|---|---|--------------------------------|
| 導入<br>10                                      | 1 前時の復習<br>4つの視点で環境負荷の軽減法を考え、短冊に書いて黒板に貼ったものを振り返る。前時間の話しを思い出して、補足または追加できる方法も考案する。                          | ○「自分の行動」、「友人や家族」、「会社や店舗」、「社会・市町村」の4つの視点と生徒の反応を記録したワークシートを提示し、追加または補足をさせる。   | グループ形式<br>ワークシート<br>グループでの話し合い |
| 展開  | 2 本時の目標を知る。   |   |                                |
| ペットボトル飲料に関する問題の解決につながるような、自分たちでできる楽しい企画を考えよう！ |   |   |                                |
| 10  | 3 自分が考えた環境負荷の軽減法の手段について出し合ったアイデアを「実行への可能性」と「効果」の側面からマトリックス表を用いて分析させる。                                     | ●マトリックス表を用いることで、生徒の思考を深めさせ、対話・コミュニケーションを通して思考の深まりを可視化するように促す。<br>○話し合いの司会と記録、発表の役割を決めさせる。   | 話し合い                           |
| 15  | 4 作業を通して、考えたことや気づいたことを発表する。   | ○各班の話し合いの記録が他の生徒にわかりやすく伝わる工夫をする。<br>○他の班の発表内容は各自のワークシートに記録させる。  | 各班の発表<br>実物投影機等の<br>ICTの活用     |
| 13  | 5 クラスで取り組むと楽しい！と思えるアイデアを発表の中から1つ選ぶ。<br>6 アイデアを元にした企画の名称、企画の目標、具体的な目標、実行に移すときの課題、課題を乗り越える方法について、グループでまとめる。 | ○「実行への可能性」と「効果」のバランスがよく、目標が具体的で、楽しく取り組める企画に「優秀賞」を進呈することを告げる。<br>○「優秀賞」をもらった企画は実際に行動に移す予定であることを告げる。  |                                |
| まとめ<br>2                                      | 7 「優秀賞」をもらった企画については、実行に移すことについて理解する。  | ○企画を実行する「実行委員会」を授業外の活動として設立すること、1人1人が協力すること等を説明する。<br>○「実行委員会」への加入を募る。<br>○これまでの学習について自分なりに整理し、その問題点について提起する目的で国語の授業内において取り組んだ「新聞への投稿」についてのコメント等を述べる。 | 他教科「国語」<br>との連携                |